

たまねずい  
おべんとう

5級 ふじいゆい

竹のこが土の  
中からでる。

特級 白井小春

きゅう食前に  
手をあらおう。

準特級 三宅さなえ

昼休みに校庭の  
鉄ぼうで遊ぶ。

特級 倉澤奏帆

緑がまばゆい季節。  
こいのぼりが風を  
受けて泳いでいる。

準特級 大藪華恋

子どもの日、しょうぶ  
の根や葉を湯ぶねに  
うかべ入浴しました。

1級 藤木 董

鳥類で最小のハチドリ。  
高速で羽ばたき空中で  
静止し、花の蜜を吸う。

準六段 吉川 心結

えんそくの  
おべんとう

3級 うえだみこと

竹のこが土の  
中からでる。

準特級 遠藤 弘大

きゅう食前に  
手をあらおう。

1級 石田 ゆま

昼休みに校庭の  
鉄ぼうで遊ぶ。

準特級 石田 千晴

緑がまばゆい季節。  
こいのぼりが風を  
受けて泳いでいる。

1級 内尾 衣七

風薫るは夏の季語。  
樹木の間を風が吹き  
抜けていくさまの表現。

準六段 金丸 愛菜

鳥類で最小のハチドリ。  
高速で羽ばたき、空中で  
静止し、花の蜜を吸う。

五段 加藤 瑞稀

えんそくの  
おべんとう

4級 よしいゆずき

竹のこが土の  
中からでる。

1級 吉田 百花

きゅう食前に  
手をあらおう。

2級 長岡 澄玲

昼休みに校庭の  
鉄ぼうで遊ぶ。

1級 小寺 想乃

子どもの日、しょうぶ  
の根や葉を湯ぶねに  
うかべ入浴しました。

初段 土岡 珀月

風薫るは夏の季語。  
樹木の間を風が吹き  
抜けていくさまの表現。

五段 加地 司

鳥類で最小のハチドリ。  
高速で羽ばたき、空中で  
静止し、花の蜜を吸う。

準五段 塩野 綾奈

えんそくの  
おべんとう

6級 ながたゆり

竹のこが土の  
中からでる。

2級 花輪 韻

きゅう食前に  
手をあらおう。

3級 中村 きな

緑がまばゆい季節。  
こいのぼりが風を  
受けて泳いでいる。

初段 先田 森乃

子どもの日、しょうぶ  
の根や葉を湯ぶねに  
うかべ入浴しました。

準初段 清水 大誠

風薫るは夏の季語。  
樹木の間を風が吹き  
抜けていくさまの表現。

準五段 前田 彩希

黄河の激流、竜門を登った  
鯉は竜になるといふ伝説  
が登竜門の語源である。

準六段 山本 佳代子

えんそくの  
おべんとう

7級 うちださき

竹のこが土の  
中からでる。

3級 北川 あさ

昼休みに校庭の  
鉄ぼうで遊ぶ。

初段 野溝 あかね

緑がまばゆい季節。  
こいのぼりが風を  
受けて泳いでいる。

準初段 上田 笑太郎

子どもの日、しょうぶ  
の根や葉を湯ぶねに  
うかべ入浴しました。

特級 瀬戸 琴葉

風薫るは夏の季語。  
樹木の間を風が吹き  
抜けていくさまの表現。

四段 堀川 真由子

黄河の激流、竜門を登った  
鯉は竜になるといふ伝説  
が登竜門の語源である。

五段 杉山 伊由

えんそくの  
おべんとう

9級 にしなさつき

きゅう食前に  
手をあらおう。

特級 小西 悠菜

昼休みに校庭の  
鉄ぼうで遊ぶ。

準初段 山下 雄誠

緑がまばゆい季節。  
こいのぼりが風を  
受けて泳いでいる。

特級 正木 栄奈

子どもの日、しょうぶ  
の根や葉を湯ぶねに  
うかべ入浴しました。

準特級 内藤 丞太郎

風薫るは夏の季語。  
樹木の間を風が吹き  
抜けていくさまの表現。

準四段 坂口 慶伍

黄河の激流、竜門を登った  
鯉は竜になるといふ伝説  
が登竜門の語源である。

準五段 行實 高弘